

青森東高校の「単位制」

1. 単位の履修と修得

①「単位」とは

ある科目について1週間あたり1時間の授業を受け、1年間(35週間)通して学習した場合の学習量を「1単位」といいます。たとえば、「現代社会」は週に2時間授業を受けることになっていますが、この場合「現代社会」の修得単位は「2単位」となります。高等学校では、それぞれの科目について単位数が決まっています。

② 青森東高校の「単位制」

単位制においては、基本的には学年の枠はありません。学年の代わりに、入学してからの年数を「年次」と呼びます。このため「1学年」ではなく「1年次」と言うのです。

本校の単位制は、1年次は全員が共通の教科・科目を学びますが、2年次からは生徒本人の進路希望や興味・関心に応じて教科・科目を選んで学習することができます。

一方、本校では、学年制の良さも残しています。各年次でホームルーム(クラス)を編成し、毎日、朝や帰りのホームルームを行います。また、文化祭、運動会、修学旅行などの行事もホームルーム単位での取組が基本です。

③ これまでの「学年制」

多くの高校では学年制をとっています。学年制では、教科・科目の履修・修について、どの教科・科目をどの学年で学習するかは学校が決めます。このため、その学年で開講された教科・科目以外は学習できません。

2. 単位制で学習するにあたって

①自己管理が大切

選択科目が多くなると教室の移動も多くなり、授業を受けるメンバーもその都度変わります。次の授業時間に自分が受ける科目は何か、どこの教室なのか、常に頭に入れて行動しなくてはなりません。また、自分のホームルームの机を自分だけが使うとは限りません。他の備品も同様ですが、皆で共有するものと考えて大切に使いましょう。

②ホームルームの大切さ

高校ではクラスのことを「ホームルーム」(略してHR)と呼びます。HRは、共通の科目を選択したり、近い進路希望を持っている生徒たちで構成されます。このため同じ授業を受ける機会が多いのですが、全く同じではありません。中学校の時と違って、同じクラスの友人たちであっても、別々の教室で授業を受ける機会が増えてきます。HRのメンバーは学校生活を送るうえで良き仲間です。HRでの取り組みや学校行事にも積極的に参加し、より良い友人関係を築いてください。